

平成18年9月25日
独立行政法人防災科学技術研究所

～シンポジウム“平成18年豪雪を振り返る”～

独立行政法人 防災科学技術研究所（理事長 岡田義光）は、「～シンポジウム“平成18年豪雪を振り返る”～」を下記のとおり開催いたします。

主 旨：平成18年豪雪では全国で死者150名を超える人的被害や多くの家屋倒壊、豪雪による集落孤立の発生、JRや私鉄の運転休止、さらに電線着雪による数10万世帯の停電など雪国を中心に多大な被害がありました。新潟県津南町から長野県栄村につながる国道405号でも通行止めとなり、秋山郷が孤立したことが連日報道されました。平成18年豪雪は、近年暖冬が続き忘れられがちであった雪の怖さを我々に再認識させるとともに、雪害対策の問題点も浮き彫りにしました。このため昨冬得られた教訓を生かすためにも、今一度“平成18年豪雪”を振り返る機会として「～シンポジウム“平成18年豪雪を振り返る”～」を開催します。また、雪崩に関する最新の研究も紹介致します。

主 催：（独）防災科学技術研究所

共 催：新潟県十日町地域振興局、十日町市、津南町、

（独）土木研究所 雪崩・地すべり研究センター、新潟大学災害復興科学センター

日 時：平成18年9月30日（土）13:00～17:00

場 所：津南町文化センター（新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡丁2806-3）

Tel: 025-765-3134

プログラム：別紙のとおり

参加費：無料

参加申込：不要

本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会、長岡市

＜内容に関するお問い合わせ・連絡先＞

独立行政法人防災科学技術研究所

雪氷防災研究センター 山口 悟

Tel: 0258-35-7522(代表)

Fax: 0258-35-0020

E-mail yamasan@bosai.go.jp

シンポジウム

平成18年豪雪を振り返る

入場
無料

日時：2006年9月30日(土)(13:30～17:00)
場所：津南町文化センター

プログラム

「豪雪をもたらした雪雲の挙動」

防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 中井専人

「津南町の平成18年豪雪」

津南町 総務課総務班 高橋隆明

「平成18年豪雪の道路状況について」

十日町地域振興局 地域整備部維持管理課 金子善一郎

「20年ぶりの豪雪 - 過去との違い・未来への課題 -」

長岡技術科学大学 上村靖司

「平成18年豪雪による雪崩災害」

新潟大学災害復興科学センター 和泉薫

「航空レーザー計測等による雪崩実態調査」

土木研究所 雪崩・地すべり研究センター 花岡正明

「雪崩発生予測の研究紹介」

防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 山口悟

総合討論

主催：防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

共催：新潟県十日町地域振興局、十日町市、津南町、

土木研究所 雪崩・地すべり研究センター、新潟大学災害復興科学センター

問い合わせ先：防災科学技術研究所雪氷防災研究センター

〒940-0821 新潟県長岡市栖吉町前山187-16

TEL 0258-35-7520 FAX 0258-35-0020 URL <http://www.bosai.go.jp/seppyo/>

